

# 第5・6学年 家庭科

## 1 学年の目標

- |   |
|---|
| <p>(1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。</p> <p>(2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。</p> <p>(3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。</p> |
|---|

家庭科は、衣食住や家族の生活に関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、生活における自立の基礎を培うとともに、家庭生活を大切にしている心情を育てることを目指している。また、進んで身近な生活の課題を解決する能力を身に付け、家族や近隣の人々と協力して、家庭生活をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度を育てることをねらいとしている。

## 2 指導の要点

家庭科の学習では、生命の維持や心身の成長発達などにかかわる人間の基本的な営みが行われる家庭生活を学習対象としているので、家庭生活にかかわりの深い人やもの、環境などとの関連を図りながら、食べることや着ること、住まうことなどを取り扱うことになる。そこで、基本は児童の家庭生活から始まり、学習した内容は家庭生活で実践することをねらいとする。そこで、次に示すような4つの指導の要点に留意する。

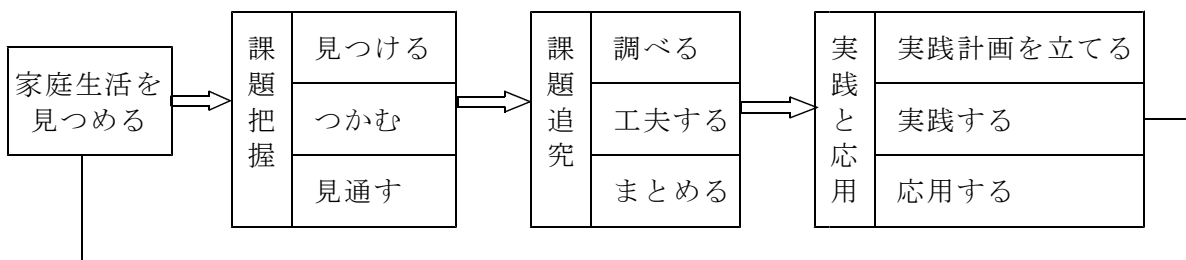
基本方針	家庭生活を見つめ、学んだことを家庭生活で実践する。
指導の要点	<p>(1) 実践的・体験的な活動を取り入れる</p> <p>(2) 問題解決的な学習の流れを取り入れる</p> <p>(3) 基礎的・基本的な知識や技能を活用する場面を設定する</p> <p>(4) 近隣の人々や環境に考慮する</p> <p>(5) 家庭生活に生かす工夫をする</p>

### (1) 実践的・体験的な活動を取り入れる

目的をもって、衣食住や家族の生活などに関する学習対象を観察する、触れる、聴く、味わうことなどを通じた直接体験や情報の収集、製作や調理などの実習、インタビューや実験等の実感を伴った理解に資する具体的な学習活動を展開する。

### (2) 問題解決的な学習の流れを取り入れる

家庭生活を見つめ直したり実感したりすることによって、身近な生活の課題を見つけ、その解決を目指して調べたり、工夫したり、物を作ったり、生活に応用したりする活動に、実践する喜びを味わうことのできる問題解決的な学習を効果的に取り入れる。



### (3) 基礎的・基本的な知識や技能を活用する場面を設定する

実践的・体験的な学習を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身に付けていく。その際に、単に方法だけを取り出して訓練するのではなく、日常生活に関連のあ

る学習において、児童自身が主体的に知識や技能を生かし、自分の考えを働かせながら工夫する経験を繰り返すことができるような場面を設定する。

**(4) 近隣の人々や環境に考慮する**

家族と共に、近隣の人々とのかかわり方や、家庭生活を取り巻く環境への影響を考慮して学習を組み立てる。

**(5) 家庭生活に生かす工夫をする**

- ・個の力を伸ばす…一人一人の興味関心に応じた一人1実践を通し、生活に生かす喜びを味わうことができるようにする。
- ・家庭との連携……家庭科便りや学年通信等で学習内容や一人一人の成果を知らせたり、家庭の協力を依頼したりすることで、家庭との連携を図り、実践力を身に付けていくようにする。
- ・実践カードの活用…家庭で実践した内容を記録したり、家族に励ましの言葉を書いてもらったりすることで、家庭での実践を促す。

**3 内容の取り扱い**

**(1) 内容の構成と具体的な視点**

内容は、第5学年・第6学年をまとめて示しており、地域や学校、児童の実態に応じて弾力的な指導ができるようにしている。また、家庭生活は、地域や家族構成等によって違いがあるので、児童の実態を考慮した独自の題材や関連する内容をまとめた題材、複数の内容を組み合わせた題材などで構成している。内容は、以下のA・B・C・Dの4つである。

A	家庭生活と家族
B	日常の食事と調理の基礎
C	快適な衣服と住まい
D	身近な消費生活と環境

内容	具体的な視点
A 家庭生活と家族	(1) 自分の成長と家族 ア 自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付く。 (2) 家庭生活と仕事 ア 家庭には自分の家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができる。 イ 生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力する。 (3) 家族や近隣の人々とのかかわり ア 家族との触れ合いや団らんを楽しくする工夫をする。 イ 近隣の人々とのかかわりを考え自分の家庭生活を工夫する。
B 日常の食事と調理の基礎	(1) 食事の役割 ア 食事の役割を知り、日常の食事の大切さに気付く。 イ 楽しく食事をするための工夫をする。 (2) 栄養を考えた食事 ア 体に必要な栄養素の種類と働きについて知る。 イ 食品の栄養的な特徴を知り、食品を組み合わせるとる必要があることが分かる。 ウ 1食分の献立を考える。 (3) 調理の基礎 ア 調理に関心を持ち、必要な材料の分量や手順を考えて調理計画を立てる。 イ 材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けが適切にできる。 ウ ゆでたり、いためたりして調理ができる。 エ 米飯及びみそ汁の調理ができる。 オ 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及びこんろの安全な取扱いができる。
C 快適な	(1) 衣服の着用と手入れ ア 衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できる。 イ 日常着の手入れが必要であることが分かり、ボタン付けや洗濯ができる。 (2) 快適な住まい方

衣服と住まい	<p>ア 住まい方に関心をもって、整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できる。</p> <p>イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できる。</p> <p>(3) 生活に役立つ物の製作</p> <p>ア 布を用いて製作する物を考え、形などを工夫し、製作計画を立てる。</p> <p>イ 手縫いやミシンの直線縫いにより目的に応じた縫い方を考えて製作し活用できる。</p> <p>ウ 製作に必要な用具の安全な取り扱い方ができる。</p>
D 生身 活近 とな 環消 境費	<p>(1) 物や金銭の使い方と買い物</p> <p>ア 物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考える。</p> <p>イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できる。</p> <p>(2) 環境に配慮した生活の工夫</p> <p>ア 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き、物の使い方などを工夫できる。</p>

## (2) 内容の取り扱い方

内容の取り扱い方には、次のことを配慮する。

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)を、小学校4年生までの学習を踏まえ2学年間の学習の見直しをもつためのガイダンスとして取り扱うとともに、AからDまでの学習に関連させる。</li> <li>・家族構成や家族の就労状況等、児童の取り巻く環境に十分に配慮して取り扱う。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携を図り、児童が身に付けた知識及び技能などを日常生活に活用できるように配慮する。</li> <li>・理科・体育科などの教科や学校給食等との関連を考慮する。</li> <li>・(2)では、五大栄養素と食品の体内での主な働きを中心に扱う。</li> <li>・食に関する指導では、食育の充実に資するよう配慮する。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携を図り児童が身に付けた知識及び技能を日常生活に活用できるようにする。</li> <li>・人間を取り巻く快適な環境を作り出す要素として衣服と住まいをとらえ、関連付けて学習を展開させる。</li> <li>・(2)イについては、主として、暑さ・寒さ・通風・換気及び採光を取り上げる。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)では、A(3)、B(3)、C(2)(3)の内容との関連を図り、衣食住などの生活で使う身近な物を取り上げる。</li> <li>・(2)では、B又はCとの関連を図り、実践的に学習する。</li> <li>・社会科や理科などの教科や総合的な学習の時間との関連を考慮する。</li> </ul>

## (3) 実習の指導

- ・服装を整え、用具の手入れや保管を適切に行う。
- ・事故の防止に留意して、熱源や用具、機械などを取り扱う。
- ・調理に用いる食品については、生の魚や肉は扱わないなど、安全・衛生に留意する。

## 4 評価の観点の趣旨

観 点	観 点 の 趣 旨
家庭生活への 関心・意欲・態度	衣食住や家族の生活などについて関心をもち、その大切さに気付き、家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。
生活を 創意工夫する能力	家庭生活について見直し、身近な生活の課題を見付け、その解決を目指して生活をよりよくするために考え、自分なりに工夫している。
生活の技能	日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。
家庭生活についての 知識・理解	日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。